

健康起因事故防止に係る取組に関する アンケート調査結果

令和2年度 事業用自動車健康起因事故対策協議会

【調査目的】

主要疾病の早期発見に有効と考えられるスクリーニング検査の普及を検討するため、事業者における普及状況や課題等を把握する。

【調査内容】

1. 調査対象事業者概要
2. 国土交通省のマニュアル・ガイドラインの認知度について
3. SAS(睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査について
4. 脳血管疾患スクリーニング検査(脳健診)について
5. 心臓疾患・大血管疾患スクリーニング検査について

【回答事業者】

自動車運送事業者(バス・タクシー・トラック)を対象とし、各業界団体に協力を依頼し、会員事業者に対してWebアンケート調査を実施。

※Web形式での調査は今年度から

1. 調査対象事業者概要

● 調査対象事業者数

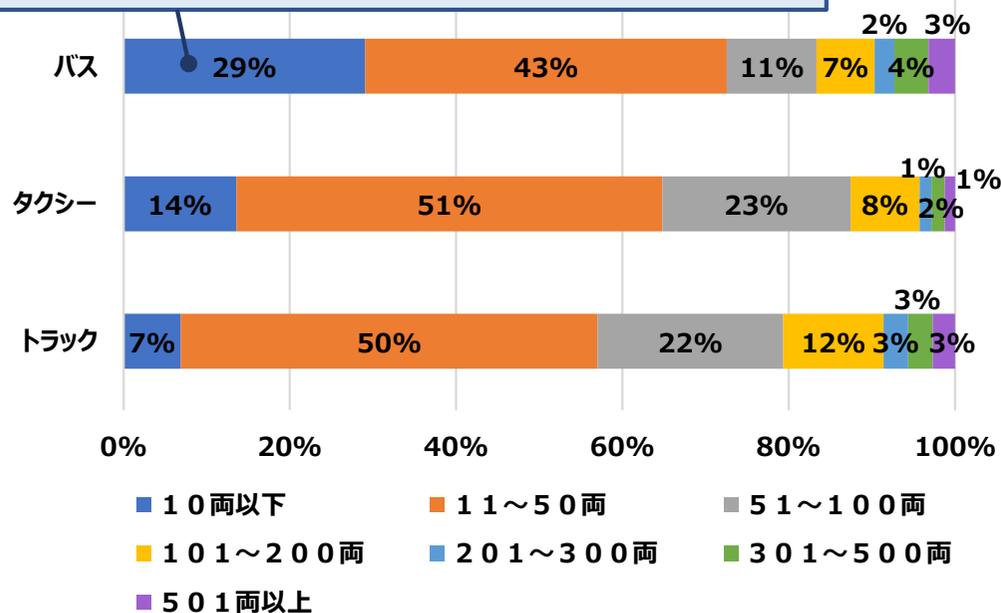
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	311	324	266	630
タクシー	443	355	303	494
トラック	319	487	452	407
合計	1073	1,166	1,021	1,531

R2年度は大幅に増加

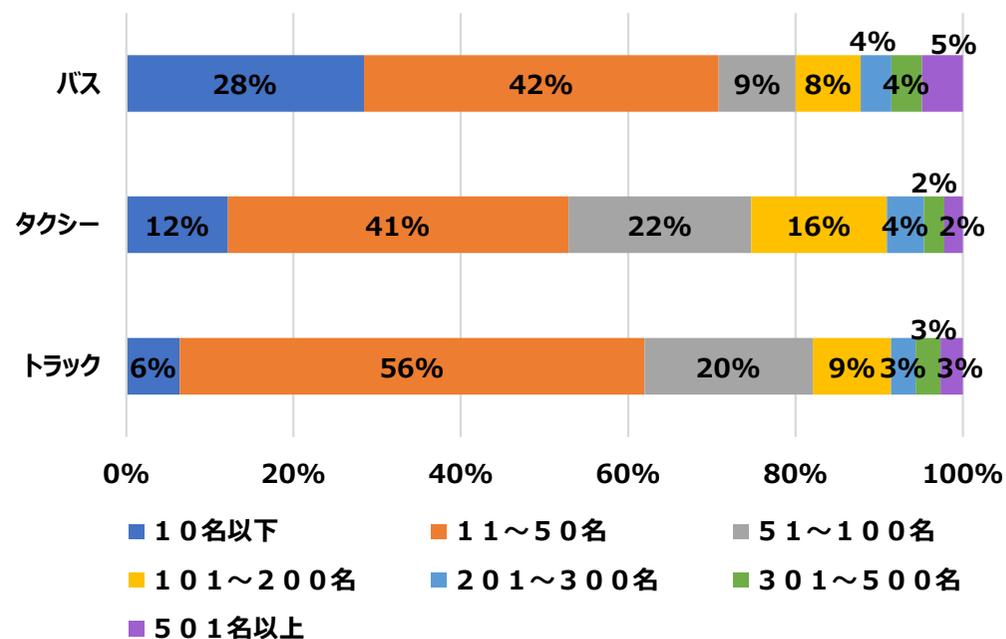
※H29～R1は紙形式、R2はWeb形式
でアンケート調査を実施
※回答事業者は毎年異なる。

● 調査対象事業者の保有車両数(割合)

R1 12.8% ⇒ R2 29% 小規模事業者の回答増



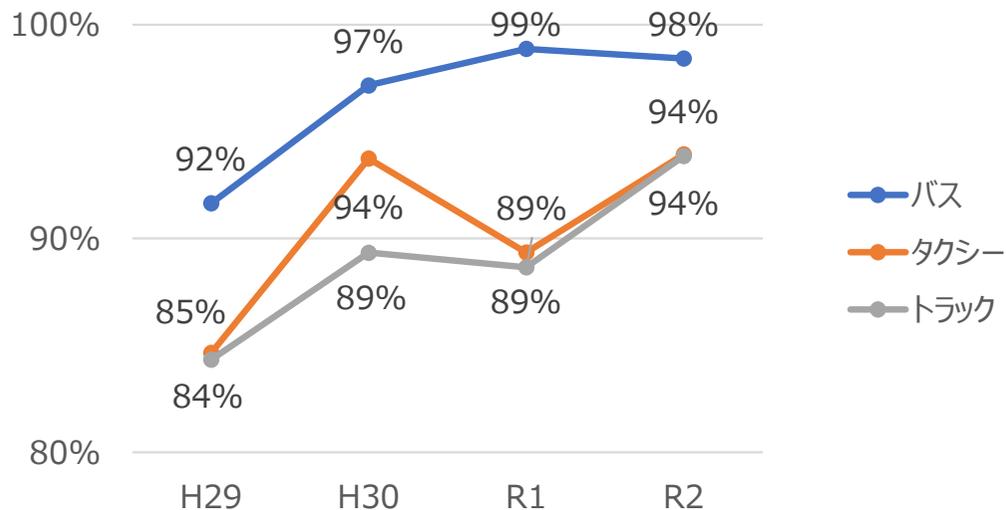
● 調査対象事業者の運転者数(割合)



2. 国土交通省のマニュアル・ガイドラインの認知度について

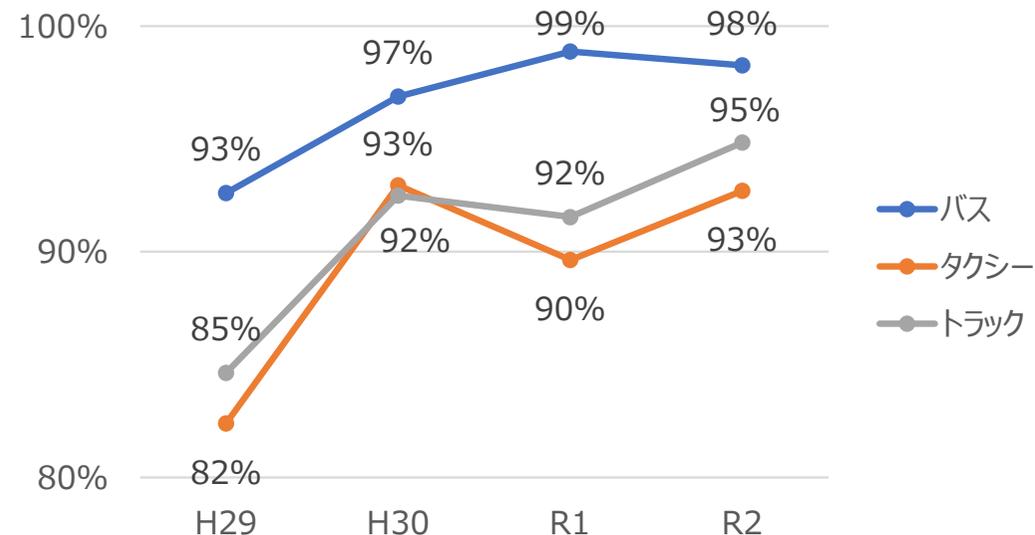
●健康管理マニュアルの認知度

※平成22年7月策定(平成26年4月改訂)



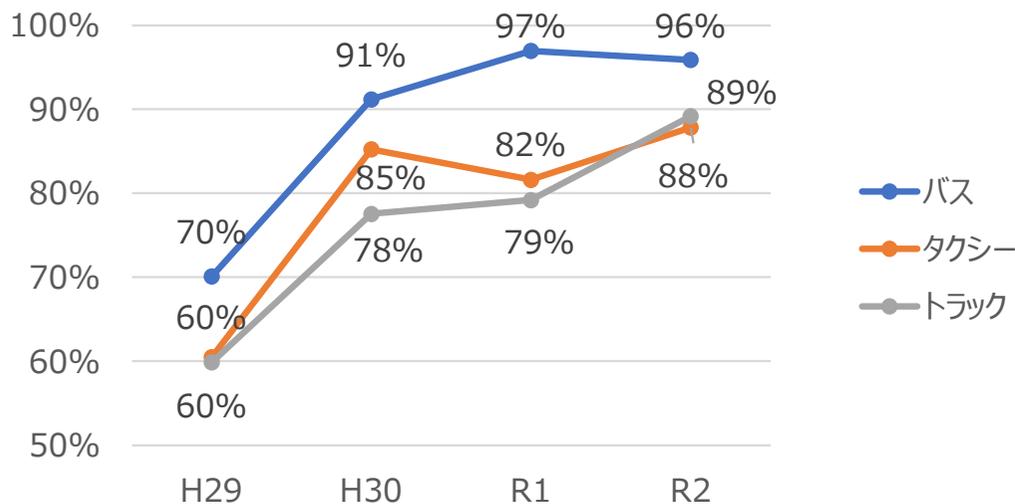
●SAS対策マニュアルの認知度

※平成15年3月策定(平成27年8月改訂)



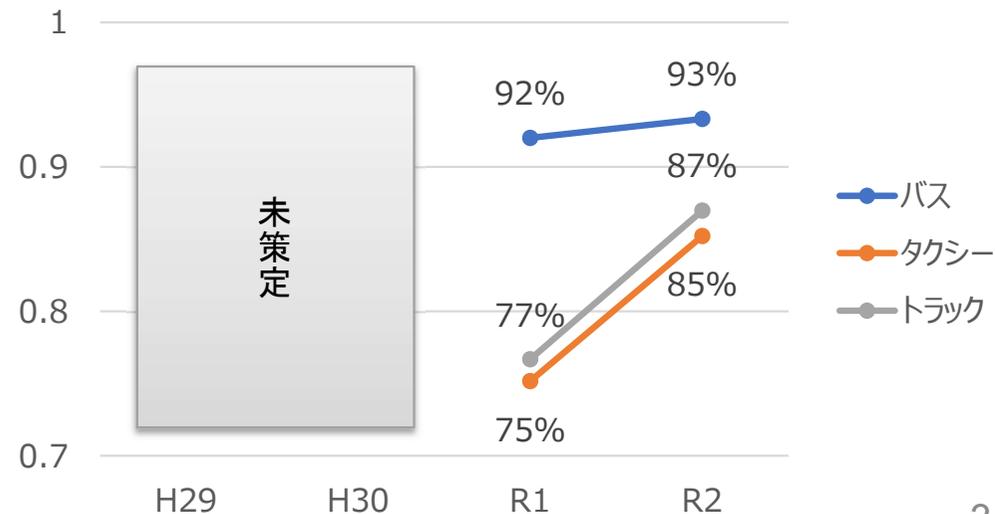
●脳血管疾患対策ガイドラインの認知度

※平成30年2月策定



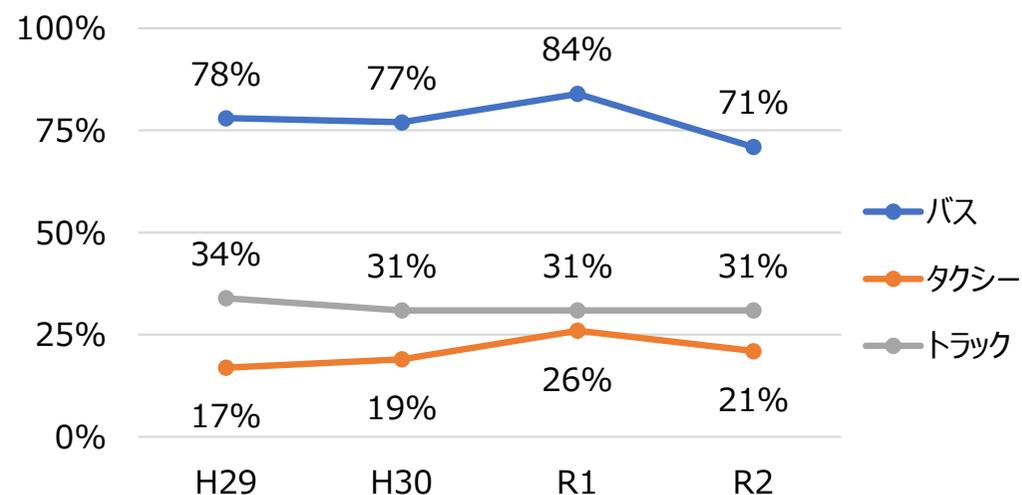
●心臓疾患・大血管疾患対策ガイドラインの認知度

※令和元年7月策定



●スクリーニング検査を受診させている

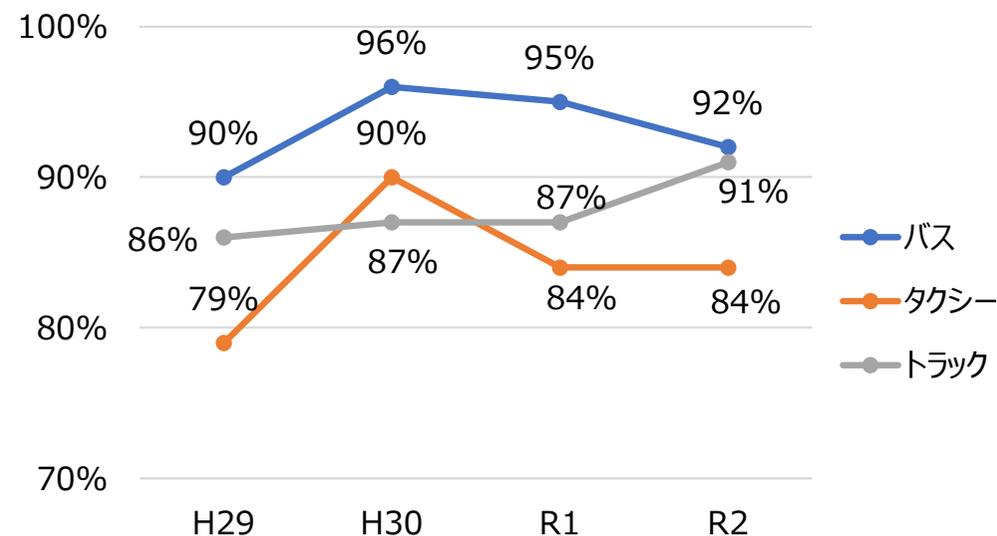
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	78%	77%	84%	71%
タクシー	17%	19%	26%	21%
トラック	34%	31%	31%	31%



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

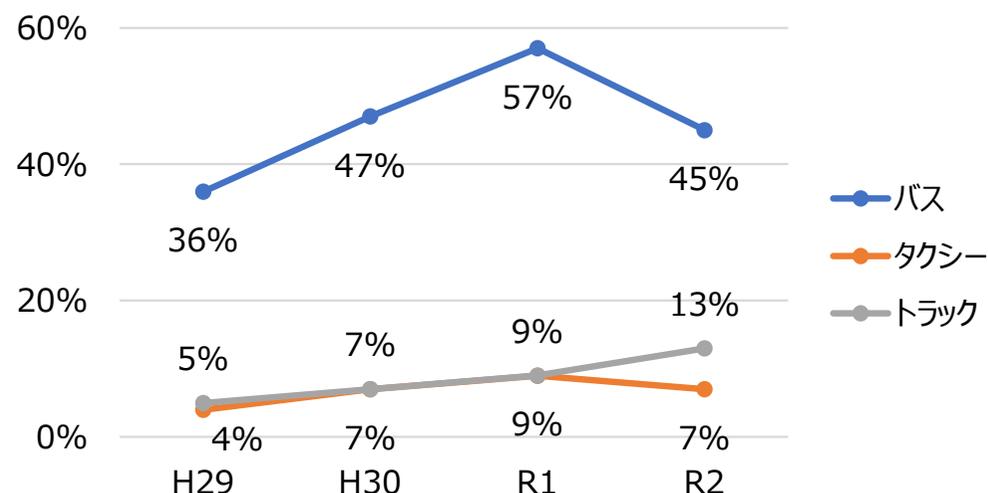
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	90%	96%	95%	92%
タクシー	79%	90%	84%	84%
トラック	86%	87%	87%	91%



4. 脳血管疾患スクリーニング検査について

●スクリーニング検査を受診させている

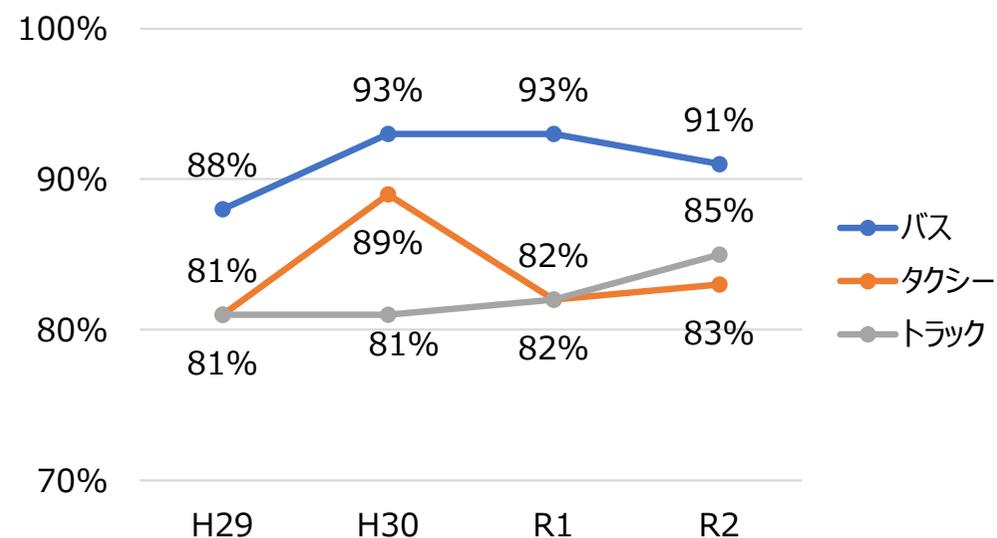
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	36%	47%	57%	45%
タクシー	4%	7%	9%	7%
トラック	5%	7%	9%	13%



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

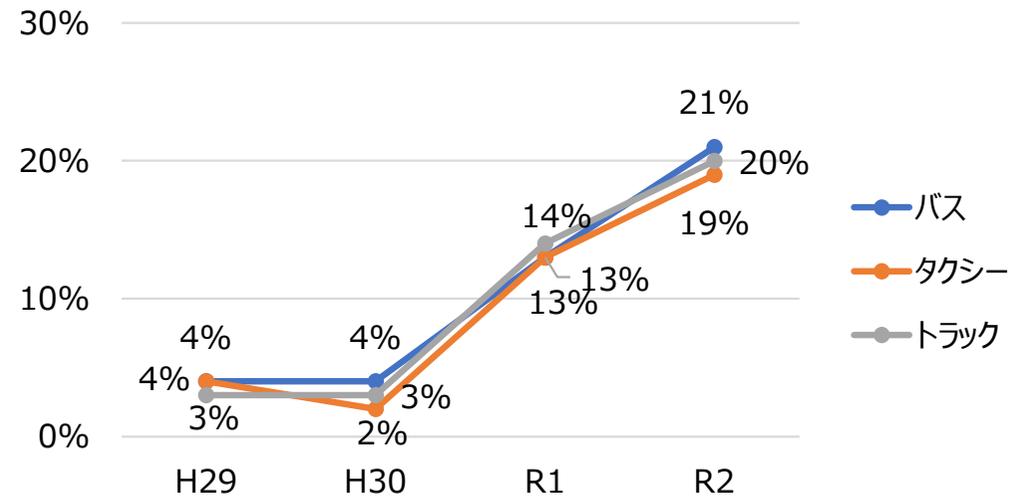
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	88%	93%	93%	91%
タクシー	81%	89%	82%	83%
トラック	81%	81%	82%	85%



5. 心臓疾患・大血管疾患スクリーニング検査について

●スクリーニング検査を受診させている

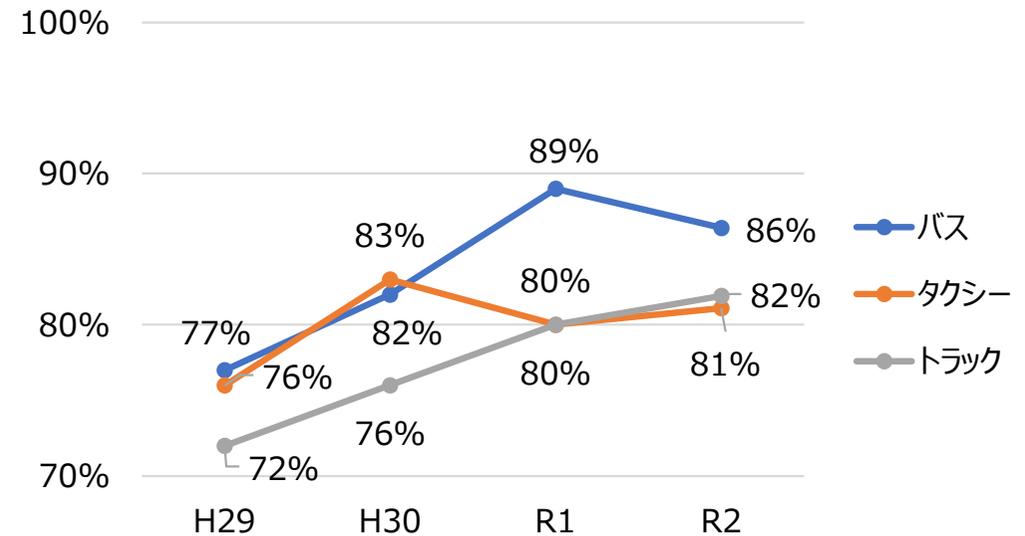
	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	4%	4%	13%	21%
タクシー	4%	2%	13%	19%
トラック	3%	3%	14%	20%



(スクリーニング検査を受診させていない場合)

●スクリーニング検査の必要性を感じている

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
バス	77%	82%	89%	86%
タクシー	76%	83%	80%	81%
トラック	72%	76%	80%	82%



【マニュアル・ガイドラインについて】

○各マニュアル・ガイドラインの認知度は、8割を超えている。

【SAS】

○受診率は、バスで7割に達している。

○必要性の認識も全モードで十分に高まっている。

【脳血管疾患】

○受診率は、バスで約5割に達している。

○必要性の認識も全モードで十分に高まっている。

【心臓疾患・大血管疾患】

○受診率は、年々増加している。

○必要性の認識も全モードで十分に高まっている。